

# 2023 年 度 事 業 報 告 書

## I 事 業 の 概 要

### 1. 遠山記念館の維持運営

- ・遠山記念館の維持運営については、従来の方針を踏襲した。

### 2. 美術品、その他資料の収集、保管並びに一般公開

#### (1) 美術品、その他資料の収集、保管

該当事項なし

#### (2) 美術品、その他資料の一般公開

##### (イ) 展 観 の 日 程

回	期 間	展 観 名	展 観 内 容
1	4月1日(土) ～5月28日(日)	テーマ展 遠山記念館のアヴァン ギャルドたち	新規寄贈品であるフォンタナ、カポグロッシ、ピカソの3点の公開を中心に、アヴァンギャルドという言葉 키워드를、遠山記念館で所蔵する日本美術、オリエント美術などの作品から作品を選び出して展示した。
2	6月10日(土) ～9月3日(日)	コレクション展 1	今回は遠山記念館の中国陶磁、朝鮮陶磁の優品を中心に、松花堂昭乗「弾琴布袋図」などの近世絵画、また小袖などの染織作品を展示した。
3	9月16日(土) ～11月19日(日)	特別展 瀬戸焼と美濃焼	遠山記念館で所蔵する永禄年間の年号入の「瀬戸焼水指」、また徳川将軍家に伝来した「瀬戸焼茶入 銘大島」を中心に、室町時代から江戸時代にかけての瀬戸焼、美濃焼の作品を並べ、その造形的な変化を紹介した。
4	12月2日(土) ～1月21日(日)	コレクション展 2	年末年始にまたがるコレクション展として、新年の干支である龍にちなむ作品、また正月飾りにふさわしい作品を選んで展示した。
5	2月3日(土) ～3月10日(日)	テーマ展 雛の世界	江戸～明治時代の名工の雛人形などを中心に、江戸時代中期から昭和時代中期頃までの様々種類の人形を、日本の人形の歴史をたどる形で展示した。
6	3月20日(水) ～5月19日(日)	テーマ展 「子の日図屏風と宮廷 文化」	源氏物語を題材とした狩野養信「子の日図屏風」を中心に、平安時代の古筆や香道具といった、平安時代の貴族文化に連なる作品を展示した。

(注) 休館日 ・ 定例休館日 毎週月曜日(当日が祝祭日の場合は翌日)

・ 展示替期間

・ 年末年始 12月21日～1月5日

(ロ) 開 館 状 況

- ① 開館日数：294 日
- ② 入館者数：7,552 人

(単位：人)

区 分	今年度	前年度	増減差
大 人	3,355	3,302	+53
学 生	97	128	-31
団 体	828	433	+395
※他	3,272	2,799	+473
合 計	7,552	6,662	+890

※他 招待、小人、優待、無料、YFC・県教委・障害者

- ③ 入館料収入 (単位：円)

今年度	前年度	増減差
5,034,220	4,514,780	+519,440

(3) 収蔵作品の保存修復活動

該当事項なし

(4) 収蔵作品の新規評価活動

該当事項なし

3. 展示等に関連する講演会、教育普及関連の催事の開催

(1) 展示関連の催物、ワークショップ、ギャラリートーク等

- 4月15日(土) 特別講演会(ZOOM開催)「古代シリアの女神たち一何を託され、祈られたのかー」  
講師：宮下佐江子氏(国士舘大学イラク古代文化研究所特別研究員)
  - 4月30日(日) 特別講演会(ZOOM開催)記念講演会「ルーチョ・フォンターナのブロンズ像について」  
講師：黒川弘毅氏(武蔵野美術大学名誉教授)
  - 10月7(土) 土曜講座(ZOOM開催)「瀬戸焼と美濃焼の茶道具」
  - 10月15(日) 特別鑑賞会「長次郎の黒楽茶碗を見比べる」
  - 10月21(土) 特別展瀬戸焼と美濃焼 記念茶会(協力 埼玉大学茶道研究会)
  - 10月29(土) 遠山邸研究会「遠山記念館(旧遠山家住宅)庭園の近代和風庭園としての特色と価値」  
講師：栗野 隆(東京農業大学教授)
  - 3月2日(土)・3日(日) 「雛祭りの日ガイドツアー」
  - 2月17日(土) 地域子ども教室「子どものためのギャラリートーク」(共催：川島町教育委員会)
- (2) 投扇興を楽しむ会  
毎月第2日曜日を中心に実施
- (3) 遠山邸 2階の特別公開  
9月23日(土)、11月18日 以上2回

#### 4. その他目的を達成するために必要な事業

##### (1) 博物館実習の受託

期 間：9月20日から9月28日までの8日間

成城大学、大東文化大学、武蔵大学、立教大学から各学生1名（合計4名）を受入れる。

##### (2) 美術品の貸出協力

	貸出先	展覧会名	貸出期間	貸出作品
1	栃木市美術館	開館記念展 明日につながる物語	4月15日～6月18日	1. 二代飯塚鳳斎「笈形器局」 2. 二代飯塚鳳斎「料紙文笥」 3. 二代飯塚鳳斎「硯箱」
2	京都文化博物館	大名茶人織田有楽	4月22日～6月25日	1. 「文琳茶入 銘玉垣」
3	サントリー美術館	吹きガラス	4月22日～6月25日	1. 「把付二連瓶」 2. 「吊手付瓶」
4	ポーラ美術館	シン・ジャパニーズ・ ペインティング	7月15日～12月3日	1. 菱田春草「躑躅」
5	サントリー美術館	虫めづる日本の 人々	7月22日～9月18日	1. 喜多川歌麿「夏姿美人図」 2. 岡田為恭「虫狩図」 3. 上村松園「むしの音」
6	東京国立博物館	やまと絵	10月11日～12月3日	1. 「佐竹本三十六歌仙絵」 2. 「秋野蒔 絵手箱」 3. 「伊勢集(石山切)」
7	サントリー美術館	大名茶人織田有楽	1月31日～3月24日	1. 「文琳茶入 銘玉垣」

##### (3) 助成金、奨学金の支払い

(イ) 遠山記念館芸術・学術等助成金として、「埼玉県文化振興基金」に100万円を拠出した。

また、公募申請の結果、2名（前川 健生氏：遊 音楽企画代表、吉岡 知子氏：埼玉県立近代美術館）に各25万円支払った。

(ロ) 遠山記念館留学生奨学金として、「埼玉県グローバル人材育成基金」に100万円拠出した。

(ハ) 遠山記念館障害者のための文化芸術振興助成金として、「埼玉県シラコバト長寿社会福祉基金」に100万円拠出した。

#### 5. 学芸員による主な研究活動

##### (1) 口頭発表

依田徹「茶の湯文化学会東京例会 小松宮彰仁親王の茶道具蒐集—仙波家と伊木家を中心に—」

(5月27日)

依田徹「茶の湯文化学会大会 江戸幕府老中と茶—稲葉家と阿部家—」(6月10日)

依田徹「日本家政学会食文化研究部会 八百善の食と文化」(9月16日)

##### (2) 外部講座等

久保木彰一「非常勤講師(日本美術史担当)」(大東文化大学)

松村久代「さいたま市岩槻人形博物館人形資料等選考評価委員会委員」(さいたま市)

松村久代「さいたま市岩槻人形博物館運営委員会委員長」(さいたま市)

松村久代「非常勤講師(博物館実習・博物館展示論・博物館情報・メディア論担当)」(跡見学園女子大学)

依田徹「財団法人今日庵(裏千家) 裏千家東京ゼミナール 『天王寺屋会記』を読む」(4月7日～4月26日)

依田徹「表千家不白流埼玉支部 総会講演会 千家の茶の湯と川上不白」(6月4日)

依田徹「茶道夏期大学 近代の皇室と茶の湯」(7月29日)

依田徹「非常勤講師(茶道史担当)」(昭和女子大学)

依田徹「非常勤講師(物の文化史担当)」(学習院女子大学)

依田徹「非常勤講師(近代茶道史)」(裏千家茶道学園)

依田徹「文化審議会文化財分科会 第六専門調査会委員(生活文化、食文化担当)」(文化庁)

### (3) 刊行物等

依田徹「懐石新書」『淡交』959～967、4月～12月

依田徹「どうしたらいいですか? わたしのマンション茶室 (大特集 マンションで茶会。: 生活空間を“茶室”に変える工夫とアイデア)」『なごみ』523、7月

依田徹「利休と少庵 茶の湯と桜のものがたり」『なごみ』532、3月

依田徹「小浜藩主酒井忠義の茶道具蒐集」『茶の湯文化学』41、茶の湯文化学会、3月

依田徹「江戸幕府老中と茶: 稲葉家と阿部家 (令和五年度大会シンポジウム 江戸の茶の湯: そのイメージの再考)」『茶の湯文化学』41、茶の湯文化学会、3月

※ 「事業報告の内容を補足する重要な事項」(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項)がないため、事業報告附属明細書は作成しなかった。